

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ストリート		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 12日 ～ 2025年 9月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 9月 24日 ～ 2025年 9月 24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と集団療育を同一日に行っております。 個別療育は、マンツーマンを基本として、一人の利用児様一人の職員で行っております。 個別療育はABAを基本に、ご本人の意思を大切に、環境等にも配慮した支援を心掛けています。	お子様一人一人の行動を分析、応用することで、お子様の暮らしやすさへのサポートを行い、ゆったりとした空間での集団療育、個別に対応した個別療育を組み合わせた様々な療育を通じて、お子様一人一人にとってのよいことをみつけ、うまくいく行動を増やして、お子様のできるを引き出しできたことへの達成感へつなげる支援を心掛けています。	職員の増員や、専門職（ST等）の配置を目指しています。 個と集団のどちらも大事にすることで、個と集団が自然につながっていけるように声掛けや促しを行っています。 学校がお休みで、長時間ご利用されるときに、利用児様がリラックスして過ごせる空間の提供にも努力していきます。
2	集団療育は、曜日で、異なるテーマで実施しています。 個別療育では、学習支援、プログラミング療育も実施しております。 個別療育、集団療育、自由遊びを通してのSSTにも力を入れての支援を実施しております。 集団部屋も個別部屋もマジックミラーで支援の様子を見学いただけます。 送迎はご家族にお願いしておりますが、11時～18時の間でご家族のご都合でご来所、ご帰宅いただけます。	集団療育は、月曜日は制作、火曜日は音楽（リトミック等）、水曜日は運動、木曜日はSST、金曜日はダンスをテーマにその日のご利用者様に合わせて内容を吟味しています。 個別療育は、基本、マンツーマンで、担当者が作成したツール（プリント等）や、カード、その他の教材を、それぞれのお子様に合わせて都度、厳選して、支援を行っています。	各曜日で実施している集団支援について、お子様の達成感の充実を図る観点で、発表会や、公開会の開催や、当事業所以外の方との交流を図っていただけるように、お祭りのイベントや、事業所開催のイベントを開催し、地域の方や、お子様のお友達等も参加いただける公開イベントのはの参加も計画しております。
3	個別療育と集団療育の間の時間については、自由遊びを行っていただくことで、慣れたお友達と自然にグループを形成していただき、楽しさの中から、子ども同士のコミュニケーションを自ら体験、実施できるような職員による声掛け促しを行っています。	個別療育でできることが、集団でできなかつたり、個別療育だけではできない子ども同士のコミュニケーションを慣れた仲間同士で実施することで、より早く社会性や、コミュカのUPが目指せる支援を行っています。	若い職員が多い職場ですので、子どもたちと自由遊びの時間に友達感覚での交流もでき、子供たちが自分たちでやりたいこと、実施したいことを言葉で表現し、気楽に自分の気持ちを話せることで、自分でやりたいことを組み立て、実際にやっていく力の引き出しもおこなっていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っていませんので、幼稚園や、保育園に訪問する機会がありません。	日々の支援の内容を、その場で口頭でリアルタイムで保護者にお伝えしたく送迎を実施しておりません。保護者の方との言葉と言葉でのコミュニケーションも大切にしたいと考えています。ご家族の送迎により、保護者の方と一緒に行動することで、送迎時に今日のストリートでやることや、やったことのお話をする時間を持ていただければと考えています。 送迎を行っていないので、保育園や幼稚園等に訪問する機会がなく、園との連携が、家族の仲介のみになってしまっています。	未就学のお子様については、ご家族との連携重視や、送迎時の安全の確保の観点から、送迎の予定はございません。 保育園や、幼稚園との連携につきましては、ご家族のご希望がございましたら、直接の連絡による電話や、訪問による連携を実施していければと考えています。
2	送迎を行っていませんので、送迎ご希望の方に対応できていません。（ご家族様に送迎をお願いしておりますので、サービス提供時間（11時～18時）の間で、ご家族様のご都合のよい時間で、ご来所、お迎えをいただいています。サービス提供時間の前後1時間については延長も可能です。）	個別療育と集団療育を同一日に行っておりますので、送迎に時間を取られることで、支援の準備や、教材づくりに時間が無くなったり、運転という専門でない仕事をするすることで、職員のストレスが多くなり、送迎に時間を通癒し、十分な支援ができない可能性が大いと考えています。	現在は未就学のお子様の送迎は考えておりませんが、運転手の運転で、経験のある男性職員等が添乗員として同乗できるような勤務体制が取れるようになれば、送迎を考えたいと思っていますので、運転手等が単独で雇えるように、売り上げを伸ばせるような取り組みを考えていきたいと思っていますがなかなか達成は収益的に難しいのが現状です。
3	児発のお子様のご利用が少ない状態です。 グループ活動となる保護者会、ペアレントトレーニング等の保護者様向けの研修会等も実施できておりません。	支援の内容の充実や、事業所運営については力を入れてきましたが、利用者様への報告が少なかったかと思います。地域のお祭りに参加したり、ダンスの発表会を実施したりとかは実施してきましたが、ダンス療育以外のご利用の方への配慮や、周知の仕方が少なかったのかと考えています。	現在、ホームページのお知らせや、Instagram、ライン、りたりこ発達ナビのサイトを通して、支援の様子や、お知らせ等情報を流しておりますが、まだまだ、配信量が少なかつたと反省しております。また、ご家族のお迎え時等のご家族との連携もより強化していきたいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ストリート
------	-------

公表日 2025年 9月 26日

利用児童

5 数 2025年 9 月 12日

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	1		個別のマンツーマン療育と、集団療育を同一日に実施していますので、職員が満足のいく十分な支援ができない状態も発生してきています。職員の増員を考えていますが、法律上では問題ない人数を配置しています。職員を増員しても、収入増加に繋げられないので、収益的に持続可能性が低みどころです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1	0	0		バリアフリーにはなっておりません。お子様に理解しやすいボードでの表示も行っておりますが、放デイのお子様の場合は理解しやすいと考えられますが、児童のお子様に対しては、もう少しの工夫を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1	0	0		集団療育につきまして、多機能型で実施しておりますので、人数の多い放デイよりの支援となることもあり、申し訳ございません。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	1	0	0		5領域との整合性や、5領域の必要性と、重点目標とのバランスについて、課題の方向性についても、日々勉強してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1	0	0		移行支援、地域支援、地域連携については、計画は個別支援計画に記載しておりますが、実施については、中々、ハードルが高く実施できないものもありますが、実施努力は続けてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0		5領域の実施や、時間単位での計画に改正された関係で、計画が複雑になっておりますので、計画が簡素化できる努力をしていきたいと考えております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1	0	0		固定化しないように日々教材や、支援内容は吟味しておりますが、継続しての実施となる方が、達成感につながることもありますので、ご本人が楽しめる範囲での工夫を心掛けています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	2		金曜日にご利用いただいて見えないお子様への支援の方法について検討致します。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	1	1		お子様が増えてみえましたら、保護者会等の実施も検討しております。ご希望がございましたらお伝えください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1	0	0		ご家族の御送迎時等に日々、ご家族のご希望をお聞きできればと考えております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	1		ご家族の御送迎時等に日々、ご家族のご希望をお聞きできればと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1	0	0		若い職員が多く、お子様と一緒に自由遊び等を行うことで、お子様と職員が共感的な支援となるように心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	2	1		お子様が増えてみえましたら、保護者会等の実施も検討しております。ダンスを通じてのイベント開催を2月ごろに計画しておりますので、きょうだいにも参加いただければ幸いです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1	0	0		ご相談等がございましたら、随時対応させていただきますので、お気軽にお申し付けください。お待ちしております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1	0	0	支援の終了後に、担当者にお伝えください。ホームページのお知らせや、ライン、Instagram、りたりご発達ナビのサイトに情報も公開しています。連絡帳もご活用ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	0	0	りたりご発達ナビのサイトやInstagramに日々の支援の様子を公開しております。ラインでのご連絡も登録いただけます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	1	研修等で周知しております。情報公開についても十分検討の上実施していますが、中視点等ございましたら、お教えください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1	定期的に訓練は実施しておりますが、お子様の同席の訓練には、放デイご利用の方はご参加されました。周知については重要事項説明時にさせていただいています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	0	1	職員につきましては、定期的を実施しておりますが、お子様参加の訓練については、安全性等も踏まえ、検討して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1	安全確保の周知について職員だけでなく、保護者の方にも伝わりやすい方法を検討致します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	1	発生した際は、できるだけ速やかにご連絡をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1	0	0	楽しみに参加いただけるようなプログラム作成に努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ストリート					公表日	2025年	9月	26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースは十分にあります。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育士3名（常勤2名、非常勤1名）、児童指導員非常勤1名、指導員非常勤1名を配置しています。	個別のマンツーマン療育と、集団療育を同一日に実施していますので、職員が満足のいく十分な支援ができない状態も発生してきています。職員の増員を考えていますが、法律上では問題ない人数を配置しています。職員を増員しても、収入増加に繋げられないので、収益的に持続可能かが悩みどころです。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関、トイレを含め、バリアフリーです。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		集団療育用の大部屋と、個別療育用のパーテーションで2区分した活動部屋があります。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育用の活動部屋をクーリングルームに利用していることも可能であり、お子様が一人で過ごされても、マジックミラー越しに確認が可能です。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々ミーティングを開催して、業務改善を図っています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			業務改善につなげられるように、努力いたします。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングを開催することで、業務改善につなげています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価はまだ、実施できていません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		りたりこ発達ナビの研修動画サイトやプログラム教材サイトの契約（有料）して、職員全員が、支援の合間に視聴することで、支援方法等を日々各人が学習しています。市やその他の外部研修にも各人が参加しています。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		昨年度のブルグラムは公表しています。	今年度の書き換えはまだおこなえていません。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			5領域との整合性や、5療育の中で重点的に支援をおこなうのが適切だと判断した場合も、5領域での計画が義務づけられているので、どのように作成していくかについて日々悩んでいます。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングや、日々の支援検討の中での共有を図っています。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別療育や、集団療育どちらを実施するにおいても、支援内容の周知を、ミーティングや、日々の支援検討やライン等の遠隔ツールを使って共有を図っています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			りたりこ発達ナビの支援ツール等を参考にしたアセスメント様式を作成し、標準化したアセスメントを実施しています。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			計画には設定しております。	移行支援、地域支援、地域連携については、計画は個別支援計画に記載しておりますが、実施については、中々、ハードルが高く実施できないものもありますが、実施努力は続けてまいります。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		集団療育に関しては、週単位の根本テーマについて、チームで立案、個別療育については、その日の担当が立案し、チームで共有しています。					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		集団療育については、個別のテーマ（音楽、ダンスなど）を柱として、内容を変更することで、固定化を回避、個別療育については、各人の日々の状態に合わせて、随時変更しています。					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別療育とテーマ別集団療育、その他の時間帯における自由遊びを、1日で行える計画を作成、支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	出勤後の適時に、ミーティングを実施、その日の支援の共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		その日の支援については、重要課題や連絡事項等のみになることが多くなっています。	その日の振り返りは、支援終了後は書類の作成等に時間を要するため、翌日のミーティングになることが多くあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録を日々作成、職員間では、NASに保存することで、社内で自由に閲覧できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	会議が開催された場合は理解したものが参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		家族や学校からの要望もありませんので、現在はまだ、実施しておりません。希望があり次第実施致しますので、ご希望があれば、お伝えください。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援の内容については、年長児様を中心に、就学に向けて、集団登校時や授業等でのSSTを含み、学習に直結した支援も行っています。連携については、家族や学校からの要望もありませんので、現在はまだ、実施しておりません。希望があり次第実施致しますので、ご希望があれば、お伝えください。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		家族や学校からの要望もありませんので、現在はまだ、実施しておりません。希望があり次第実施致しますので、ご希望があれば、お伝えください。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		自立支援協議会等を通じて、連携をさせていただければと考えています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		ダンスを通じてのイベント開催を年2回以上、計画しておりますので、地域の方にも参加や見学いただければ幸いです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	ご家族にお子様の送迎をお願いしておりますので、お迎えの時間にその日の支援について、その日の担当者が支援毎にお話をしております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族様向けの研修につきましては、まだ実施は致しましておりません。ご希望があり次第実施を検討したいと考えています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時等に重要事項説明書等により、ご説明しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	ご家族の御送迎時等に日々、ご家族のご希望をお聞きできればと考えております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	ご説明、ご同意を頂いて、計画を実施しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	学習内容や、支援内容、利用時間等については、ご家族等からご相談があれば、助言や支援にその都度反映させていただいています。	学校生活等での悩み等ございましたらご相談ください。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		利用者が増えてみえましたら、保護者会等の実施も検討しております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情についての体制は整備しております。対応についても迅速な実施を心掛けています。ご相談は随時受け付けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		りたりこ発達ナビのサイトや、Instagramに日々の支援の様子を公開しております。ホームページや、ライン等にも、情報を公開しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		研修等で個人情報の取り扱いには十分配慮を行っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思の疎通には十分、注意、配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			ダンスを通じてのイベント開催を年2回以上、計画しておりますので、地域の方にも参加いただければ幸いです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に研修や、訓練を実施しています。	ご家族向けについても検討致します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に研修や、訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時に聞き取りを行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			アセスメント時に聞き取りを行っています。	食事は提供致しておりません。ご希望の方には、おやつを提供しておりますが、アレルギーをお持ちの場合は、ご持参をお願いする予定です。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修や、訓練を実施しています。安全管理は十分行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		契約時の重要事項説明書以外での周知は図っておりませんので、計画による周知も考えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			ヒヤリハットはミーティングで共有、検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的な小研修と、年1回の1時間以上の研修を計画し、実施致しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			身体拘束をやむを得ず行う場合は、計画に記載し、別紙にて、期間、範囲、内容等を記載した同意書での同意をいただく予定です。	